



農業法人 **デリカファーム**

2026年 8月 6日
デリカファーム株式会社

デリカフーズグループ経営方針

デリカフーズグループは、青果物加工流通分野において、野菜の価値を追求し、未来に向けた「持続可能な農業」と「食を通じた健康増進」を実現する付加価値創造企業です。

パーパス
Purpose

Purpose

野菜の未来を変える。野菜で未来を変える。

志
Mission

Mission

青果物の流通を通じて日本の農業の発展と人々の健康増進に貢献する。
それが私たちのミッションです

Delica Group
Vision

Vision

未来の子供たちが安全でおいしい野菜をいつでも食べられる。
持続可能なインフラを構築する。
それが私たちのビジョンです

Delica Group
Value

デリカフーズグループの体制

デリカフーズホールディングス株式会社（持株会社）

NEW

デリカフーズ

青果物加工流通業



長崎ファクトリー
(タレ・ソース類製造)

エフエス
ロジスティックス

物流事業



デザイナーフーズ

研究・コンサル



楽彩

BtoC



デリカファーム

農業経営



農業法人 デリカファーム



会社概要

会社名: 農業法人 デリカファーム株式会社

設立日: 2025年7月9日

資本金: 80百万円

所在地: 東京都足立区六町4-12-12

熊本農場: 熊本県玉名市大浜町大栄5326

代表取締役 三好正浩

取締役 梶島勇樹

監査役 片山徹也

農場長 土本大稀

詫田直紀

指導員 坂上隆也(サラダボウル様)

特定技能生 5名



目的

1

加工業務野菜の生産

栽培から選果・梱包・出荷までの一連の作業を軽減・合理化するために「業務加工用野菜」に特化した生産を行う。

2

グループ安定調達の為、自ら農業に参入し学ぶ

農業が抱える課題を深く理解し、今後の農業と原料調達のあり方を見出す。

3

新たな青果物流通モデルを構築

東海マザーセンターを活用した選果・貯蔵機能を強化し、生産から流通までを一体化した新たな青果物流通モデルを構築する

栽培内容

熊本農場：熊本県玉名市大浜町大栄5326

栽培内容：養液栽培による 赤系トマト・種なしピーマン の栽培

栽培面積：約75a 赤系トマト （8連棟ハウス 約40a）
種無しピーマン （7連棟ハウス 約35a）

栽培期間：約10ヵ月（9月中旬定植・11月下旬収穫開始・6月末
収穫終了）

目標収量：トマト 25t/反 ピーマン 12t/反

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
定植										準備	



赤系トマトと種なしピーマンの養液栽培

養液栽培とは土を使わずに、水に肥料を溶かした培養液で植物を育てる栽培方法。土の代わりにヤシガラを使用する。

【養液栽培のメリット】

- 土壌病害や連作障害を回避できる
- 土耕栽培に必要な作業（耕起、施肥、除草など）を省略できる。
- 給液や施肥の管理を自動化でき、大規模化が容易。
- 肥料や水の利用効率が向上。

【養液栽培のデメリット】

- 初期費用が比較的高い。
- 栽培する植物によっては、養液の管理が難しい場合がある。
- 水質や肥料成分の管理を適切に行う必要がある。



第二期 取り組み内容

課題

①技術の向上

- ・ 防除、栽培技術の向上

②収量アップにむけた設備投資

- ・ 水質改善設備の設置
- ・ 木質ペレット暖房機から重油加温機への交換
- ・ 湿度上昇のためミスト機の設置
- ・ より高度な環境制御装置の設置

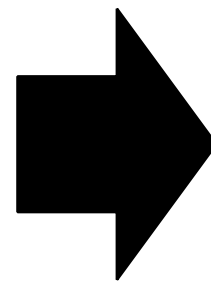
チャレンジ

①産地開拓とグループ貢献

デリカファームを中心に地域を巻き込み、新しい産地開拓にも取り組む

②人材の先行投資

全国展開を見据え、人材の募集を行い栽培管理者の教育に取り組む



①必要な設備投資と栽培技術の向上で収量アップを図る

②農業人材の確保と新しい産地開拓を行い、将来の全国展開と新たな売上獲得に向け活動する



ご清聴ありがとうございました

